

平成 22 年高教研地学部統一地区巡検報告

1. 実施日 平成 22 年 11 月 26 日（金）
2. 場所 久慈郡大子町内各地露頭
3. 内容

9:30 余暇活用センター「やみぞ」到着

10:00～12:00 袋田町営駐車場着

講師の茨城大学理学部天野教授の地質概要説明を聞いた後、滝川に沿って袋田の滝まで歩き、浅川層のクロスベッドが河床や川沿いの崖に露出しているのを観察。さらに、袋田の滝を構成しているハイアロクラスタイト（水中自破碎流）を詳しく観察した。この岩石は、安山岩質と思っていたが、石英安山岩質との研究があるとのこと。その割には、斑晶がほとんど含まれず、黒っぽい。

12:30～13:30 高倉交流センター

旧高倉小学校跡のこの建物の屋上からは新第三紀まで動いていた棚倉断層による断層地形が非常によく見える。右の写真は、山田川の下流側を見た写真で、西側が断層崖である。断層崖の下には断層そのものがあるはずである。

13:30～14:00 上高倉山田川河床

ここには、棚倉断層の西縁断層が露出しており、断層面がよく見える。そこから上流に向かうと花崗岩等の礫が露出しており、中には片麻岩もふくまれている。この礫がどこから来ているのかが謎となっている。

14:20～15:00 武生林道

入り口が大変に狭い武生林道に入ってしばらく行くとすばらしい道となる。かなり上昇して頂上付近の露頭にはなんと枕状溶岩が露出している。これを先に書いたような石英安山岩で説明するのは大変に困難である。

15:30～16:30 浅川層探求路

浅川層のいろいろな地質構造を観察したが、折角の案内看板に間違いが多く記載されているのが残念である。

